

## 臨床研究に関する公開情報

### 【整理番号】

No,26-04-28

### 【研究課題名】

変形性膝関節症に対する凍結乾燥血小板由来因子濃縮液の長期臨床成績  
-ベースライン時の血小板数、X線所見の重症度、および理学療法の影響-

### 【研究責任者】

まつだ整形外科クリニック 整形外科 松田 芳和

### 【研究目的】

過去の診療記録を用いて、変形性膝関節症に対して PFC-FD 関節内注射を行った患者様の最長3年間の治療成績を評価することを目的とします。特に、治療前の「血小板数」、レントゲンでの「関節の変形度合い (KL 分類)」、および「理学療法 (リハビリテーション) の有無」が、治療効果にどのような影響を与えるか (予後予測因子) を明らかにすることで、今後のより効果的な治療法の選択に役立てます。PFC-FD は OA に対して短期的な症状緩和をもたらしますが、その長期的な持続性や予後因子は依然として明らかになっていません。本研究では、PFC-FD の単回注射による長期的な臨床成績を評価し、ベースライン時の血小板数、X線所見の重症度、および理学療法 (PT) に焦点を当てて、予後因子を特定しました。

### 【研究対象】

2018年から2025年の間に、当院において変形性膝関節症 (KL 分類 1~4) の診断で PFC-FD 関節内注射による治療を受けられた患者様 (597 膝) の過去の診療記録を使用させていただきます。対象となるデータは、年齢、性別、BMI、治療前の血小板数、レントゲン画像、問診スコア (KOOS、VAS) 等です。

### 【インフォームドコンセント】

過去のデータを利活用するため、全ての対象者から直接同意 (代諾者を含む) を得ることが困難となります。補完的に、公開情報に伴うオプトアウトにより過去データの使用を拒否する機会が全ての患者様に認められています。

### 【問い合わせ先】

048-567-0753

まつだ整形外科クリニック 整形外科 松田 芳和 (まつだ よしかず)